

## SGH講演会（水班）を開催しました！

5月6日（金）大塚耕司教授（大阪府立大学現代システム科学域長）をお招きし、SGH講演会を開催しました。水班の38名が参加し、ベトナムのハロン湾（世界遺産）を中心に大塚先生が取り組んでおられる水環境改善活動に関する講義を聴講しました。JICA、堺市、ベトナムのクアンニン省等と連携し、マングローブの植樹、小学校での環境授業、アクリルたわしの普及による生活排水の改善、水上村での生ごみのコンポスト化、ナマズの解体油やバイオディーゼル燃料（BDF）を使用した海上輸送やゴミ運搬船の建造、炭鉱跡地でのBDF原料樹種生育調査など持続可能な社会構築に向けた「住民参加型資源循環システム」や「廃棄物循環システム」について見識を深めました。

講義後は多数の質問や活発な意見交換が行われ、参加した生徒からは「二枚貝の水質浄化作用についてさらに研究を進めたい」「ハロン湾へ行き、様々な実地調査を行いたい」などの感想が聞かれました。今後の研究活動をさらに発展させるために、有意義な研修となりました。



## 研究室訪問・意見交換会①（熱帯医学研究所）

5月6日（金）医療班の代表生徒9名が長崎大学熱帯医学研究所を訪問し、平山謙二教授との意見交換会を行いました。生徒たちはそれぞれの班で設定したテーマに関して質問し、平山先生に回答していただきました。ある生徒からの「蚊に対する忌避効果がある化学物質を原料に加えて石鹼を作ろうと思うが、何かアドバイスはありますか。」という質問に対し、「“安全性”が最も大事。特にアレルギーは人々の関心も高く、製造者が気かけなくてはならないので、試作品を作り、データをとる必要がある。」とご助言をいただきました。また、「発想が面白い。発想力は研究に欠かせないので、大切にしてください。」と、SGH研究を行っていく際のポイントも教えて下さいました。意見交換を終えた生徒たちからは、「すごく勉強になりました。」「研究のヒントをもらえました。」との声が聞かれました。

